

光寿

10月号
2011

10月の花 彼岸花

よき踊りなど堪能

昭和十二年生まれ 六人が新入会

公民館が主催する二十三年度般若地区敬老会が、十九日の午前十時半から、庄東小学校の体育館で開催されました。

昭和十二年生まれの新入会員が紹介され記念品が贈られました。当会からは池田富子さん(坂東)、開田道雄さん(西川原)、林孝雄さん(北明)、堀尾外志子さん(北明)、武部由美子さん(川原)、林逸子さん(善導)の六人(般若全体で二十一名)の方々が新入会員として招かれました。



また合わせて齋藤きみ子さん(北明)、林すみ子さん(坂東)、林みどり子さん(北明)、林せき子さん(公文名)ら四人の方々に砺波市からの米寿の祝い(贈られました。幼稚園、小学校、中学校の児童生徒たちや、今年、高知のよさこい祭りで九位に入賞し



季節のうた

万灯の柿青空を画布として

た南砺市福光の石楠花舞妙(しゃくなげぶたえ)のよさこい踊りなどが披露され、百人余りの参加者が楽しく有意義なひとときを過ごされました。公民館、福祉協議会、婦人会等の役員の方々はじめ、お世話くださった皆さん、たいへんご苦勞様でございました。

導友クラブが優勝

公文名Aの三連覇ならず

第八回光寿会親睦ペタン



第8回 光寿会ペタンク大会

大会が、残暑の厳しい九月十四日、いざいざ開催されました。



予選り

リーグを勝ち抜いた三チームの間で決勝リーグ戦が行われ、共に一勝一敗の三すくみとなりました。が、得失点差で導友クラブが優勝、公文名Aが二位、善友クラブが三位となりました。この三チームと四位入賞の北明Aが二十五日に開かれる般老連の大会に出場することになりました。

第8回 光寿会ペタンク大会 選手一覧

東	齋藤太佐雄	林 憲治	坂東 勲
西川原クラブ	林 利和	開田 道雄	開田 玉子
北明 A	林 孝雄	八田 茂與	林 孝行
北明 B	武部 則行	三門明明子	八田 静香
正党ビレッジ	武部 幹夫	八田 嵩	高島 孝子
川原 A	林 邦子	武部由美子	高島 夏子
善友クラブ	八田 政夫	林 孝進	林 喜與志
導友クラブ	林 和紘	林 紘	林 文子
公文名 A	島 道成	林 博	島 照子
公文名 B	林 甚松	林 義夫	林 要矩



健闘する善友クラブ

第九回般老連ペタンク大会が爽やかな秋風の吹く九月二十五日、般若中学校グラウンドに於いて各単位老連代表十六チームが参加して開催されました。大原般老連会長の開会挨拶、宗影般若自治振興会長さんら来賓の挨拶に続いて予選リーグが行われ、当会からは公文名A(島道成・林博・島照子)、善友クラブ(林孝進・八田政夫・林喜與志)の二チームが決勝トーナメントに進出しましたが、善戦及ばず上位入賞は成りませんでした。終了後いかるぎ館において慰労会を行いました。なお、優勝は安川親寿会Dでした。



慰労会

終了後、館内表彰式を行いました。



表彰式

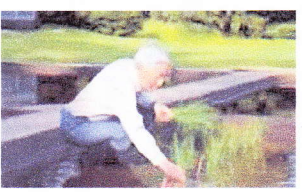
祝 設立30周年記念式典

社団法人 砺波市シルバー人材センター

●平成23年 10月7日(金) 午後1時30分
●砺波市文化会館 大ホール

らんじょ 浮世亭 だより

この頃また、方言の大切さが見直されていること、東北の駅で「降りる人が済んでからお乗りください」が「落ちる人が死んでからお乗りください」と聞こえたという笑い話、「カンショバ」が砺波方言ではなく、戦国時代から伝わる伝統のある言葉である話など、方言にまつわる様々な話題を盛り上げていただきました。当日は台風15号が接近中で参加者も例年より少なかったのですが、午後の書写の会も席を改めず、談話の席まで仏説観無量寿經の書写第七回目を行いました。



今回は、砺波弁研究会と銘打って、方言のあれこれについて語り合いました。

直されていること、東お乗りください」がと聞こえたと戦たちが使っていた砺波方言のい



次回は10月19日(第3水曜日)

大画面ビデオシアター。次回は、ご高齢にもかかわらず被災地の見舞いなどに誠心誠意尽くされている天皇陛下の在位20年余に及ぶ足跡を映像で振り返ります。
あわせて、余り知られていない「宮家」の近況などもお知らせします。ご来亭お待ちしております。10時ころより1時間余りの予定です。

スカイフェスとなみ 2011バルーン大会
10月8日(土)・9日(日)・10日(祝)
砺波市中村グラウンド

10月 行事予定	
1日	光寿会定例役員会
17・18日	常称寺報恩講
19日	浮世亭
20・21日	光寿会一泊旅行
23・24日	西慶寺報恩講
26日	市老連ふれあいスポーツ大会

秋の一泊旅行

今年NHK朝の連続ドラマ「おひさま」の舞台信州安曇野をメインとするコースを設定してみました。大勢の会員が参加されることを期待しております。

日時 十月二十一日(木) 二十一日(金)

コース
一日目 砺波ic ↓ 須坂長野東ic ↓ 丸八たきや(昼食) ↓ 善光寺 ↓ 塩屋醸造 ↓ ホテル水明館
二日目 信濃中野ic ↓ 松本ic ↓ 松本城 ↓ 安曇野スイス村 ↓ 大王わさび農場 ↓ 白馬ジャンプ台

日程 下頼成バス停午前九時出発・中頼成・太子堂前・農協前停車
参加費 男一万七千五百円 女一万六千五百円

いかるぎ 鶴木

東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故で被災した人たちに、東電の放射能測定結果を伝えるため、鶴木が「いかるぎ」を考案した。これは、被災者から「いかるぎ」として、被災者の苦しみや不安を伝えるための活動の一環として行われている。

縄ない通じて世代間交流はかる

般若老人クラブ連合会の高齢者学級が庄東小

般若高齢者学級と庄東小学校児童たちの交流会が、九月二十二日、同小学校で行われました。縄ないの技を教えながら孫たちとの交流を図ろうという趣旨で、児童たちはお年寄りの鮮やかな手さばきに感心したり、おぼつかない手つきで縄ないに挑戦したりしていました。

頼成光寿会からも八田嵩会長、林邦子副会長はじめ、三門明外二さん、山崎悦男さんらが参加して、児童たちとの交流を深めておられました。